

動き出す布引運動公園

地域防災拠点として整備

陸上競技場と多目的グラウンド

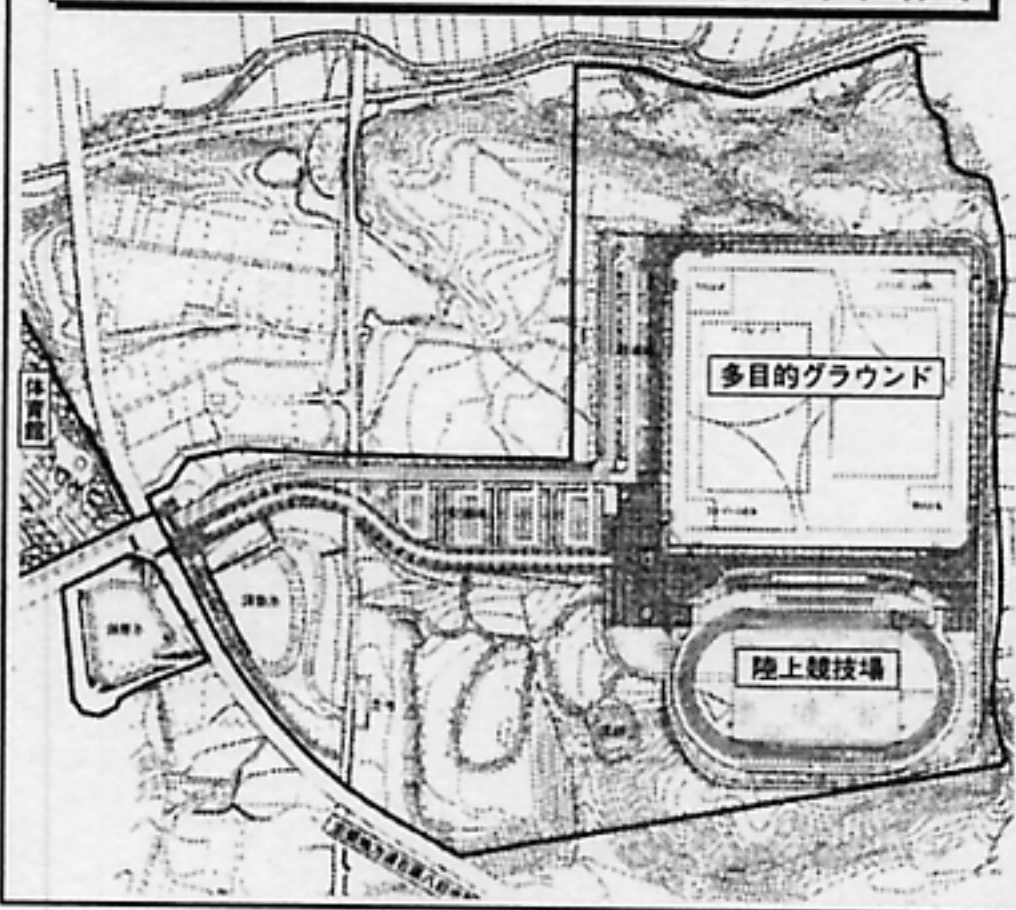
21年完成

物資備蓄や救援基地に活用

東近江市は、五年以上も停滞していた布引運動公園（芝原工区）の整備に乗り出し、五日開会の六月議会に建設工事契約（五億二千二百万円）に議決を求める。陸上競技場と多目的グラウンドを設けるほか、災害用物資の備蓄や輸送を行なうための災害救援活動の拠点ともなり、二十一年度中の完成を目指す。

主要地方道石原八日市一東側の芝原工区（面積約線を挟んで、布引体育館 十八ヘクタール）には、

布引運動公園（芝原工区）の計画平面図



全天候型四百メートルトラック八レーンを備えた公式の陸上競技場（四・五ヘクタール）を整備する。

一方、多目的グラウンド（四ヘクタール）は、

ソフトボールなら四面、野球二面（少年野球は四面）、サッカーコート二面

が取れる大きさで、競技場観覧スタンドの下は、

事務所や用具庫のほか、災害用物資の備蓄倉庫などに活用される。

国が本年度に地域防災

拠点となる防災公園の創設を打ち出したこと

から、南海・

東南海地震

防災対策推

進地域の指

定を受け整

備するもの

で、災害時

には円滑な

救援活動・

物資輸送を行う災害活動

拠点としての役割を担い、

都市の安全性確保を高め

る公園ともなる。

災害発生時には自衛隊

消防部隊、ボランティア

などの救援救護活動の前

線基地となる。また、緊急

輸送道路や避難場所との

アクセス確保とともに、広

域防災拠点や他地域から

の救援物資輸送の中継基



工事中の公園進入道路

地としての機能も備える。

具体的には、競技場と多目的グラウンドをへリポートやボランティアなど救援部隊の活動拠点として活用し、スタンド下の備蓄倉庫には救助用資

材や食料、耐震性貯水槽に飲料水や生活用水を確保する。このほか、駐車

場は物資の集積・配送拠点などに使われる。